

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和4年度)

調査表

施設名	宮崎県福祉総合センター及び県立母子・父子福祉センター
指定管理者	(株)文化コーポレーション
指定期間	令和3年4月1日から令和6年3月31日(3年間)
県所管部課	福祉保健部 福祉保健課

1 施設利用状況

指 標	R4	R3	R2	増減理由等
会場利用状況(人)	28,387	25,838	33,736	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度の会場利用人数は前年度比23.4%減と落ち込んだものの、令和4年度は前年度比9.8%増と回復しつつある。
会場利用状況(回)	2,766	2,900	2,874	
交通遊園利用状況(人)	7,685	7,822	8,660	
交通指導状況(団体)	20	19	20	
交通指導状況(人)	851	811	945	
コメント	会議室でのアクリル板、自動検温消毒器を設置し、十分な感染対策に取り組み、安心安全な会場利用を実施している。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収 入	R4	R3	R2	支 出	R4	R3	R2
指定管理料	54,950	54,650	53,666	人件費	10,193	9,408	10,059
雑収入	40	30	46	光熱水費	13,037	10,690	10,776
				委託費	20,260	20,209	20,135
				雑費	6,318	5,518	6,285
				本社管理費	8,595	7,860	6,457
合計(①)	54,990	54,680	53,712	合計(②)	58,403	53,685	53,712
収支差額(①-②)	-3,413	995	0				
コメント	燃料・物価高騰により光熱水費等の費用の増加及び新型コロナウイルス感染症の影響により自主事業の縮小を余儀なくされたが、施設運営については支障なく実施されている。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和4年度に新たに取り組んだ内容

事 項	実 施 内 容	
維持管理業務	清 掃	日常清掃、ガラス清掃(年3回)、床ワックス・カーペット清掃(年1回)、建物外周辺等清掃(週3回)
	保守・点検	冷暖房設備、エレベーター、自家発電設備、電気通信設備、汚水ポンプ、自動扉、消防設備
	警 備	夜間常駐警備、機械常駐警備
	修 繕	駐車場外灯工事、非常灯・誘導灯バッテリー交換、台風被害のよる枝等の除去等
	備品等管理	備品台帳点検、備品管理
	安全対策	事故・緊急事態対応マニュアルによる教育、施設内日常巡回、施設遊具安全点検、自衛消防訓練
	その他	草刈、花壇整備
企画運営業務	サービス提供体制整備	各会議室の先行予約実施、児童交通遊園を利用した交通安全指導の実施。
	イベント等ソフト面充実	自主企画事業(ヨガ・アロマ・骨盤教室)等の実施、児童交通遊園での交通安全教室の実施
	施設設備等ハード面充実	オーディオミキサーの設置
	その他	入居団体事務局長会議の実施
管理運営体制	屋礼による業務連絡等情報の共有化	
コメント	協定書に基づき適正な管理が図られている。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	アンケートの実施
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
本館・人材研修館の会議案内表示をしてほしい。	入口にモニターを設置し案内
児童交通遊園のワシントンアパームの枝が子どもの近くに落下	選定の事前倒し、目視点検の点検を増やした。

5 総合評価

評価コメント	庁舎の清掃・保守点検等の維持管理業務や会議室の予約運営・自主事業の企画運営業務は確実に実行されており、利用者満足度調査における結果も良好であり、必要な管理運営体制のもと、協定書に基づき、概ね適正に管理運営が行われている。
今後の課題と対応	福祉目的の施設であることから、徹底した安全管理対策を行うとともに、自主企画事業の充実を図る。また、新型コロナが5類に移行したことから利用促進に向けてのPRを行い、利用者の増加を図る必要がある。